

機械器具 2 2 検眼用器具
一般医療機器 細隙灯顕微鏡 35148000

エラーラ 900

【警告】

眼球に対する照明光の過度の照射により健康被害が生じる恐れがありますので、照明は必要最小限の明るさ及び時間にとどめてください。特に小児、無水晶体眼および眼疾患の患者に対しては、診断に必要な最低限の照射量および照射時間にとどめるようにしてください。

【形状・構造及び原理等】



寸法：本体341 (D) × 480 (W) × 560 (H) mm

＜電気的定格、使用環境等＞

電源電圧：AC100V 50/60Hz 本体：DC24V

消費電力：160VA

電撃に対する保護の形式による分類：クラス I 機器

電撃に対する保護の程度による分類：B 形装着部

使用環境：温度 10～35℃、湿度 30～90%、気圧 800～1060hPa

＜原理＞

眼球に細隙光を投射し、その反射に可動式顕微鏡を傾斜的に併せ、反射面を観察する。

【使用目的又は効能】

眼球等の観察及び撮影に用いる。

【使用方法等】

＜観察＞

- 1 顎台調整器を時計回りまたは反時計回りに回して、被検者の眼が患者眼位置マーカーと同じ高さになるように顎台の位置を調整します。
2. 多機能ジョイスティックの下部回転リングを時計回りまたは反時計回りに回して、顕微鏡の高さを調整します。
3. 必要に応じて、多機能ジョイスティックの上部回転リングを回し、顕微鏡の倍率を変えます。
4. 多機能ジョイスティックとスライドプレートを持ち、観察しやすい位置に顕微鏡を動かします。
5. 内部コントロールノブを回し、スリット光の高さを調整します。
6. 外部コントロールノブを回し、スリット光の幅を調整します。
7. 内部及び外部コントロールノブを同時に回し、スリット光の明るさを調整します。

8. プリセットホイールを横方向に 1 度押し込むとスリット光を回転させることができます。
 9. タッチディスプレイを操作して眼の観察を開始します。
 10. 多機能ジョイスティックボタンを長押しするとカメラモードに切り替わり、ボタンを押すことで画像または動画の撮影が可能です。
 11. 観察終了後にタッチディスプレイを操作し、画像データ等を転送します。
- 詳細は取扱説明書をご参照ください。

【使用上の注意】

重要な基本的注意

1. 本装置で取得した画像のみで診断しないでください。
2. 本装置が水平に且つ安定に設置されていることを確認し、使用してください。
3. 揮発性溶剤や可燃性麻酔薬が使用されている爆発の危険性のある環境では、本装置を絶対に使用しないでください。
4. 電磁干渉が起こり得る機器の近傍で使用しないでください。

【保管方法及び有効期間等】

保管環境：温度 -10～55℃、湿度 10～95%、気圧 700～1060hPa

輸送環境：温度 -40～70℃、湿度 10～95%、気圧 500～1060hPa

【取扱い上の注意】

- ・本体にスプレーを使用しないでください。
- ・本体に液体が侵入するような濡れた布は使用しないでください。

【保守・点検に係る事項】

- ・クリーニングを行う際は電源をOFFにし、電源コードをコンセントから抜いてください。

＜本体のクリーニング＞

定期的にはこりを払ってください。汚れが付着した際には、水または70%のアルコール溶液で湿らせたクリーニングクロス（糸くずの出ない柔らかい布）でふき取ってください。

＜患者接触部のクリーニング＞

観察が終了した後、次の患者の観察前に額当て及び顎台を70%のアルコール溶液で湿らせたクリーニングクロスでふき取ってください。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

＜製造業者＞

HAAG-STREIT AG ハーグストレイト社 スイス

製造販売業者



アールイーメディカル株式会社

RE MEDICAL, Inc.

本 社： 〒540-0011 大阪市中央区農人橋 2 丁目 1 番 29 号

TEL (06)-4794-8220 (代表)

取扱説明書を必ずご参照下さい。